

市政レポート vol.5

発行：柏市議会議員 桜田しんたろう <http://www.s-sakurada.jp>...
〒277-0814 柏市正連寺 373-1 FAX：04-7135-3821



桜田 さくらだ しんたろう

柏清風所属（構成員14名の保守系最大会派）。平成30年度、令和元年度、令和2年度決算審査特別委員会委員。
平成30年度、令和元年度 常任委員会 総務委員会に所属。令和3年度、常任委員会 市民環境委員会（副委員長）
に所属。令和3年度、議会運営委員会。令和3年度、議会広報委員会。



令和4年 第1回定例会

定例会日程	開会(招集日)	令和4年2月25日
	質疑並びに一般質問	3月3日～14日
	常任委員会	4月15日・16日
	閉会(採決)	令和4年3月22日

令和4年第1回定例会では、市長より令和4年度当初予算案が示され、新型コロナウイルス感染症への対応、自然災害に強い強靱なまちづくり、子育て・教育世代の支援等含む、一般会計1,485億円が全会一致で可決されました。また、桜田しんたろうは3月定例会にて登壇し、令和4年度一般会計予算への質疑や多くの地域の諸問題について一般質問を行いました。

可決された主な議案の内容

新型コロナウイルスワクチン予防接種

事業費18億9,773万円
新型コロナウイルスワクチンの予防接種を継続実施

公設市場「併設 道の駅」検討業務

事業費2,013万円
公設市場の再整備と活性化のために、「併設 道の駅」の設置の可能性を検討する業務委託を実施

千葉北西連絡道路整備促進の継続実施

事業費11万円
千葉北西連絡道路整備促進の要望活動に係る負担金

駅前「こども広場」及び「こども図書館」の設置検討調査

事業費393万円
子育てに関する機能を集約し、複合施設化を検討。令和4年度は、先進自治体の取組を研究するとともに、市民のニーズを把握するため、WEB アンケート及び保護者へのヒアリング調査を実施

(仮称) 柏市子ども家庭総合支援センターの設置

事業費6,421万円
児童相談所機能含む(仮称) 柏市子ども家庭総合支援センターの整備に向け、基本設計を実施

本庁舎のLED化

事業費27万円
本庁舎の照明灯をLED化 / 設置完了予定後1カ月間のリース料

定例会 質疑並びに一般質問

1 千葉北西連絡道路について

千葉北西連絡道路整備促進の継続実施 (議案第27号)

2 地域づくりについて

柏の葉コミュニティエリア計画
ア 柏の葉近隣センター
イ 「こども広場」及び「こども図書館」の設置検討調査 (議案第27号)

3 こども行政について

(仮称) 柏市子ども家庭総合支援センターの設置 (議案第27号)

4 経済産業行政について

公設市場「併設 道の駅」検討業務 (議案第27号)

5 脱炭素化の取組について

- (1) 本庁舎のLED化 (議案第27号)
- (2) 家庭の脱炭素化

6 防災・水害・雪害対策について

- (1) 土砂災害
- (2) 東花野井第一公園
- (3) 田中調節池の越流提移設・堤防強化
- (4) 雪害対策

7 消防行政について

救急体制

8 スポーツ行政について

NEC グリーンロケット東葛

千葉北西連絡道路について

千葉北西連絡道路整備促進の継続実施（議案第 27 号）

- Q 現在、国土交通省を中心に基本方針の策定に向けた検討が進められているが、千葉北西連絡道路の早期実現に向けて、今後どのような取組を進めていくのか。市長の考えをお聞かせ下さい。
- A 千葉北西連絡道路については、国道16号の渋滞緩和をはじめ防災面や物流などの経済面も含め多岐にわたる効果が期待される。国や千葉県において千葉北西部の自立的な発展や地域間の連携を支える高規格道路として各ビジョンに位置づけられるなど、整備の推進に向かっている。私（市長）自身も市長就任後の令和4年1月24日に国土交通省へ伺い、市内の交通状況からこの道路の必要性を伝え、道路計画の基本方針の策定に向けた第3回千葉北西連絡道路検討会の早期開催を要望した。期間短縮を目指し、今後も県及び沿線市と連携しながら、事業実施に向け積極的に取り組む。

地域づくりについて

柏の葉コミュニティエリア計画 柏の葉近隣センター

- Q 2020年9月26日に柏の葉ふるさと協議会設立総会が開催され、10月1日に発足されましたが、地域コミュニティの拠点となる近隣センターがありません。柏の葉ふるさと協議会からは、早期に設置してほしいという要望があります。柏の葉近隣センターの今後の整備計画をお示し下さい。
- A 現在、柏の葉地域ふるさと協議会において近隣センター検討委員会のメンバーを募り、2月4日を皮切りに、2か月に1度のペースで定期的に本市との協議を進めていくこととした。今後検討委員会との協議において地域における情報と要望を丁寧に伺い、柏の葉地域の皆様と共に合意形成を図りながら、近隣センターの整備に向けて鋭意取り組む。

「こども広場」及び「こども図書館」の設置検討調査（議案第 27 号）

- Q 柏の葉エリアには図書館がありません。特にこのエリアは子育て世帯が多く、保育園、幼稚園、小学校、中学校が新設されている。子供広場、こども図書館の機能を持たせた近隣センターが必要では。
- A 令和4年度に柏で子育てをしている方々の要望や現状などを把握するためのニーズ調査を行う。

経済産業行政について

公設市場「併設 道の駅」検討業務（議案第 27 号）

- Q 柏公設市場は、柏インターチェンジや柏の葉キャンパス駅が近くにあり、国道16号線に隣接し、周辺に人口が集中する立地条件を踏まえれば、道の駅化による広域的な集客施設への転換は柏北部地域に新たな魅力と活力を吹き込む大変に魅力的な構想であると考えます。今定例会に提案された来年度予算案において、公設市場併設道の駅検討業務として2,000万円が計上されている。また、道の駅については、道路アクセスが非常に重要である。市の見解をお示し下さい。
- A 柏公設市場併設道の駅の可能性調査においては、生鮮食料品流通の拠点であることをはじめ国道、鉄道駅、柏の葉地域の学術的資源、農地、消費地など市場の活性化や地域振興には多くの恵まれた素材、魅力がございます。その一方で、アクセス道路をはじめとする様々な課題も想定されますので、道の駅併設の実現可能性については多様な視点から適切に評価、判断してまいります。



道の駅しようなん

脱炭素化の取組について

本庁舎のLED化（議案第 27 号）

- Q 令和3年第2回定例会にて、脱炭素化を進めるためには照明のLED化が効果的であると推奨いたしました。また、照明のLED化は電気料金の削減による財政負担の低減を図ることにもつながります。今回本庁舎のLED化が令和4年度予算案に計上されましたが、本庁舎のLED化を今後どのように進めていくのか、整備計画をお示し下さい。
- A 市有施設への脱炭素化を促進する取組の一つとして本庁舎の照明のLED化に取り組むこととした。これらを令和4年度中にLED照明に交換し、10年間のリース契約を行う。スケジュールとしては、令和4年8月にリース契約を行い、10月には工事着工、順次LED照明への交換を進め、令和5年2月に工事完了となるよう計画を進めます。

防災、水害、雪害対策について

土砂災害

- Q 自然災害に強い強靱なまちづくりとして、土砂災害警戒区域や危険個所の再調査、さらには洪水ハザードマップの見直しが事前の減災対策として必要と考えますが、今後の市の見解は。
- A 現在柏市防災ガイドブックを新たに作成中で、洪水ハザードマップを挟み込む冊子型とし、日頃からの心構えや避難時の対策、備蓄品及び非常時持ち出し品など地震や風水害発生時に必要な対処事項をより分かりやすく情報を集約した。なお、柏市防災ガイドブックは、4月から本庁舎並びに近隣センターで配布できるよう準備を進めている。

田中調節池の越流提移設・堤防強化

- Q 田中調節池は、令和元年10月の台風の際には約4,300万m³の水を貯水して、下流域の洪水防止に大きな役割を果たしました。国土交通省では、近年の災害の激甚化に対応するため越流提の移設による治水容量の拡大を計画しています。一方で、田中調節池の中には稲作を中心とした大規模な農地が広がっており、越流提の移設に当たっては農業者の十分な説明と配慮が欠かせません。また、柏ビレジや花野井地域など利根川沿いの低地に住む市民の生命と財産を守るためには、住宅地沿いの周囲堤の強化も必要です。地域の防災、減災の観点で極めて重要な本事業に対する市の見解は。
- A この事業は、現在の越流提を上流側に移設することことで洪水調節容量を従来の6,100万m³から7,200万m³に増大させるとともに、周囲堤防のかさ上げや拡幅を実施し、田中調節池の洪水調整機能の向上を図ることを目的としている。また、本年1月には国土交通省利根川上流河川事務所より、堤防の拡幅等に関する地元住民説明に対し本市へ協力の要請がありました。本市としても、近年多発している集中豪雨や大型台風から周辺住民の生命と財産を守るためにも国土交通省と情報交換に努め、事業の早期着手に向けて協力してまいります。



田中調節池 住宅地沿い周囲堤